



— 令和6年度ふるさと考古学講座 —

第1回：1月24日（金）14～15時

「古代出羽国府で働いていた人々と周辺遺跡」植松暁彦

* 山形県は古代出羽国と呼ばれ、その役所が酒田市の城輪柵跡になります。
大河ドラマ「光る君」時代の、出羽国府への出仕者数やその居住遺跡を探ります。

第2回：2月21日（金）14～15時

「3Dモデルとオルソ画像の作成」高桑 登

* 市町村の文化財担当者向けに、条件付きで無料で使用できる「RealityCapture」と、
無料で使えるオープンソースのGISソフト「QGIS」の簡単な使い方について紹介します。

第3回：3月7日（金）14～15時

「新庄城二の丸跡の発掘成果—出土陶磁器を中心に—」菅原哲文

* 令和5年度調査の新庄城跡では、多くの近世の陶磁器が出土しました。
実際の出土品も観察しながら、陶磁器の見方や年代などお話しします。

会場：（公財）山形県埋蔵文化財センター 多目的ホール

◎一般にも公開します。電話・メール・FAX等で事前にお申込みください。

【問い合わせ】公益財団法人 山形県埋蔵文化財センター
企画担当：須賀井・熊谷
〒999-3246 山形県上山市中山字壁屋敷 5608 番地
TEL：023-672-5301 FAX：023-672-5586